

ながすまち たまな  
有明海沿岸道路(長洲町～玉名市)  
第1回 説明資料

令和5年12月4日

国土交通省 九州地方整備局

# 目 次

1. 評価対象区間	-----	2
2. 計画段階評価手続きの進め方(案)	-----	5
3. 地域の現状と課題	-----	7
4. 政策目標(案)の設定	-----	22
5. 意見聴取方法(案)	-----	25

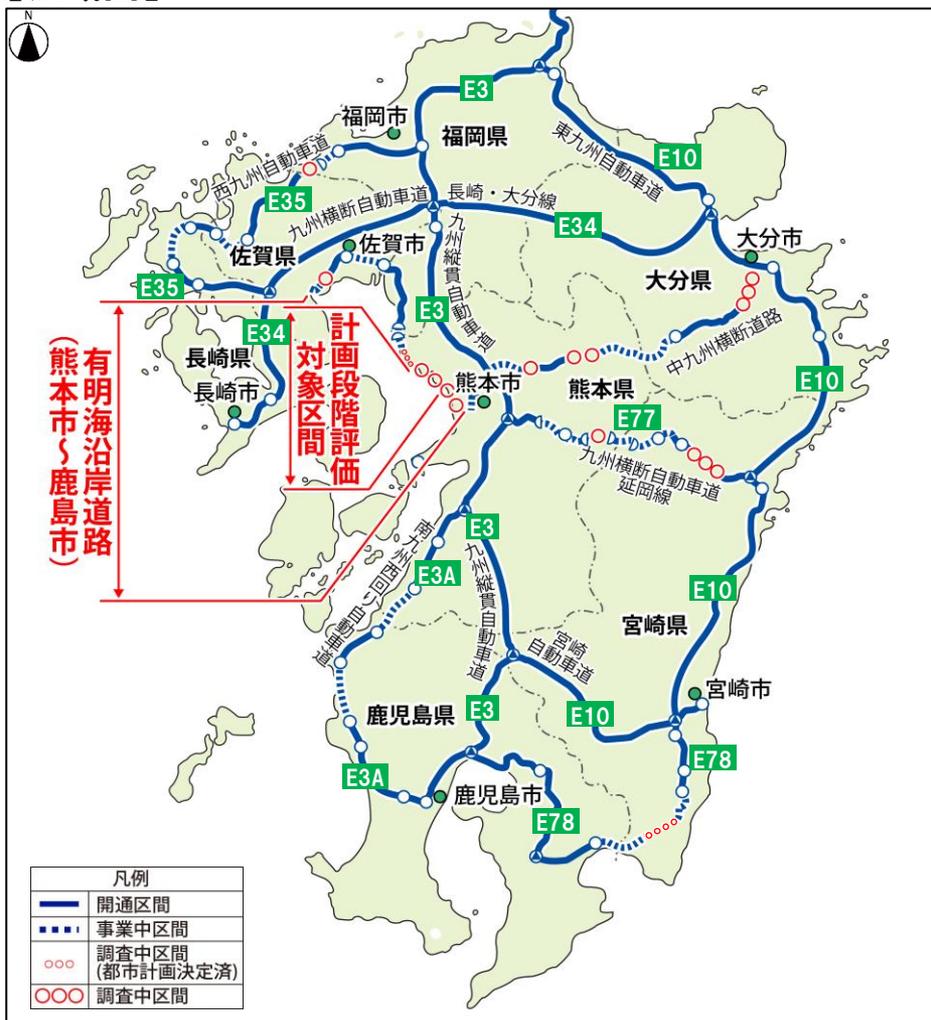
# 1. 評価対象区間

# 1. 評価対象区間〈対象区間の概要〉

○有明海沿岸道路は、有明海沿岸部の主要都市を連絡し、九州佐賀国際空港や三池港、長洲港、熊本港の物流・交通拠点を連絡する高規格道路。

○有明海沿岸道路(大牟田～大川)、荒尾道路など一体となり有明海沿岸部の幹線道路網を構成。

【広域図】



【対象区間位置図】



# 1. 評価対象区間

- 既に整備が進む福岡・佐賀方面では、三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点と連絡し、大牟田市、みやま市、柳川市、大川市、佐賀市、鹿島市などの地域間連携や交流促進を担う高規格道路として位置付け。
- 熊本県新広域道路交通計画においても高速交通ネットワーク等を担う高規格道路に位置付けられており、玉名市都市計画マスタープラン(改定版)では、熊本県と佐賀・長崎県間との県域をこえた連携や熊本県内の交通ネットワーク強化を担う、新たな広域連携軸として位置付け。

## ■有明海沿岸道路の位置付け(既開通区間の沿線市町村抜粋)

<p><b>大牟田市都市計画マスタープラン(H31.3)</b></p> <p>有明海沿岸道路は、<b>沿線都市間の交流促進や三池港等の広域交通拠点へのアクセシビリティ向上によって「地域の発展」を支援し、更には、「一般道路の混雑緩和や安全性向上によって「生活の利便性向上」にも寄与する道路</b></p>
<p><b>みやま市都市計画マスタープラン(H26.8)</b></p> <p>有明海沿岸部の自治体を結ぶ有明海沿岸道路には、<b>本市と有明海沿岸部との地域間交流の促進と、三池港や佐賀空港などとの結節機能強化による地域の活性化を期待</b></p>
<p><b>柳川市都市計画マスタープラン(H28.1)</b></p> <p>有明海沿岸道路は<b>三池港、佐賀空港などの広域交通拠点および大牟田市、みやま市、柳川市、大川市、佐賀市、鹿島市などを結び、地域間の連携や交流を促進させることが期待</b></p>
<p><b>大川市都市計画マスタープラン(H29.7)</b></p> <p>有明海沿岸道路の整備により、<b>大牟田市、みやま市、柳川市、大川市、佐賀市、鹿島市などの有明海沿岸の都市の連携が強化され、更なる利便性の向上が見込まれる</b></p>
<p><b>佐賀市都市計画マスタープラン【合併改定版】(H22.3)</b></p> <p>佐賀大和インターチェンジから東西に伸びる高速道路と有明海沿岸に東西に伸びる<b>有明海沿岸道路</b>、佐賀と唐津を結ぶ佐賀唐津道路については、<b>広域交流を活発にする広域交流軸に位置付け</b></p>
<p><b>鹿島市都市計画マスタープラン(H28.3)</b></p> <p><b>広域交流軸は</b>、都市骨格軸に位置づけた道路のうち、特に鹿島都市計画区域マスタープランで<b>他都市との連携を担う軸として示されている有明海沿岸道路</b>、国道498号、国道207号、国道444号、主要地方道鹿島嬉野線を抜粋して位置付け</p>

## ■有明海沿岸道路が担う役割(熊本県新広域道路交通計画(R3.6))

基本方針	連絡する区間	道路の機能
・九州各県を結ぶ循環型高速交通ネットワークの形成	・熊本市 ⇔佐賀市・長崎市	・連携中枢都市圏同士の連絡
・地域や拠点間を連絡する道路ネットワークの形成	・物流拠点⇔熊本港 ・物流拠点⇔八代港 ・物流拠点⇔三角港 ・物流拠点⇔熊本空港	・物流拠点と重要港湾・拠点空港を効率的に連絡
・災害に強い道路ネットワークの形成	・熊本市 ⇔佐賀市・長崎市	・災害に強い国土幹線道路ネットワークの考え方に整合する道路 ・九州を支える防災拠点構想に資する道路

## ■有明海沿岸道路の位置付け(対象区間の市町村抜粋)(玉名市都市計画マスタープラン(改定版)(R5.3時点))

○玉名市と近隣市町を連絡する広域ネットワーク道路として、国道208号、国道501号等を広域幹線道路として位置付け、**市域や行政圏といった都市圏をこえた広域的圏域における機能連携等**に向け、引き続き、各道路管理者と連携し、維持管理や整備を進める

○**新たな広域連携軸である有明海沿岸道路及び有明海沿岸連絡道路により、佐賀・長崎県との県域をこえた連携や熊本県内の交通ネットワークが強化される**



## 2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

## 2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【令和5年12月4日】

### 第1回 九州地方小委員会

#### 【審議事項】

- ◆計画段階評価手続きの進め方(案)
- ◆地域の現状と課題
- ◆政策目標(案)
- ◆地域の意見聴取方法(案)

### 意見聴取

#### 【意見聴取内容】

- 地域と道路の課題
- 政策目標(案)

#### 【意見聴取方法】

- 《ヒアリング、オープンハウス、アンケート等》  
対象者：沿線自治体  
団体代表者  
地域住民  
企業等

### 第2回 九州地方小委員会

#### 【審議事項】

- ◆地域から聴取した意見内容の確認
- ◆政策目標の設定
- ◆複数案の設定
- ◆評価項目の設定
- ◆複数案の比較評価
- ◆地域の意見聴取方法(案)

### 意見聴取

#### 【意見聴取内容】

- 対策方針(複数案)の検討に際し重視する項目

#### 【意見聴取方法】

- 《ヒアリング、オープンハウス、アンケート等》  
対象者：沿線自治体  
団体代表者  
地域住民  
企業等

### 第3回 九州地方小委員会

#### 【審議事項】

- ◆地域から聴取した意見内容の確認
- ◆地域等の意見を踏まえた対応方針(案)の検討

対応方針の決定(概略ルート、構造)

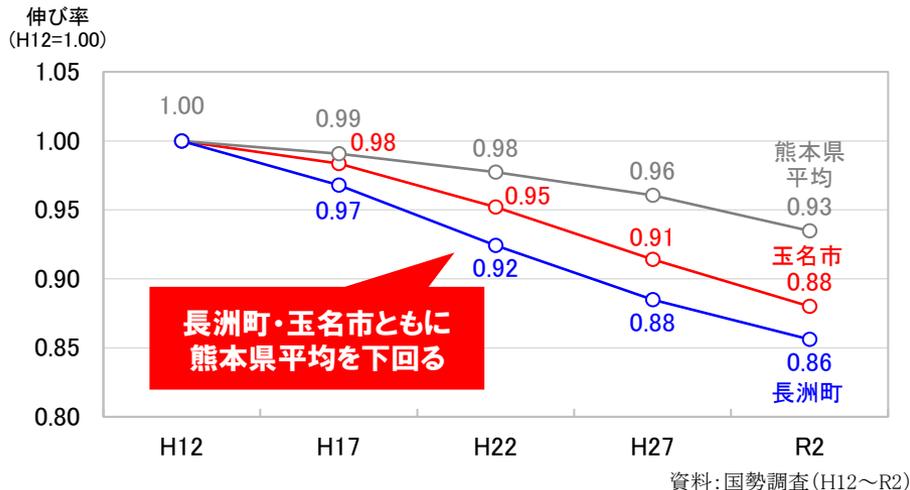
地 方 小 委 員 会

### **3. 地域の現状と課題**

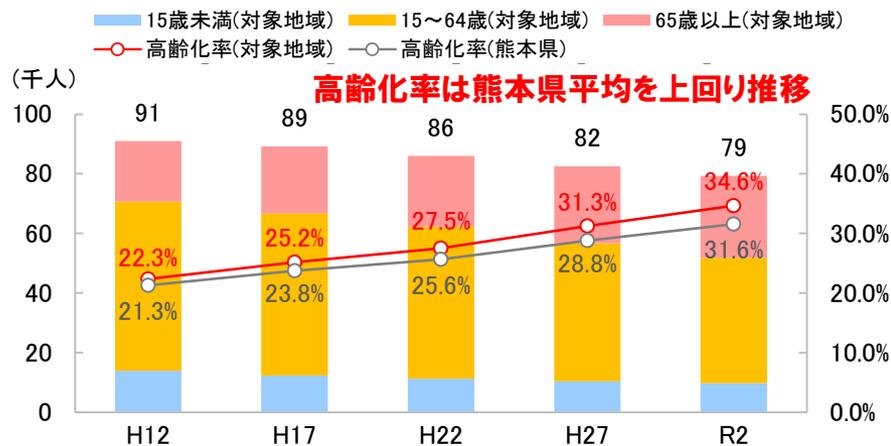
# 3-1. 地域の現状<人口・高齢化率>

○長洲町、玉名市は熊本県平均の伸び率を下回る水準で人口減少が進んでおり、高齢化率も県内平均を上回り推移。

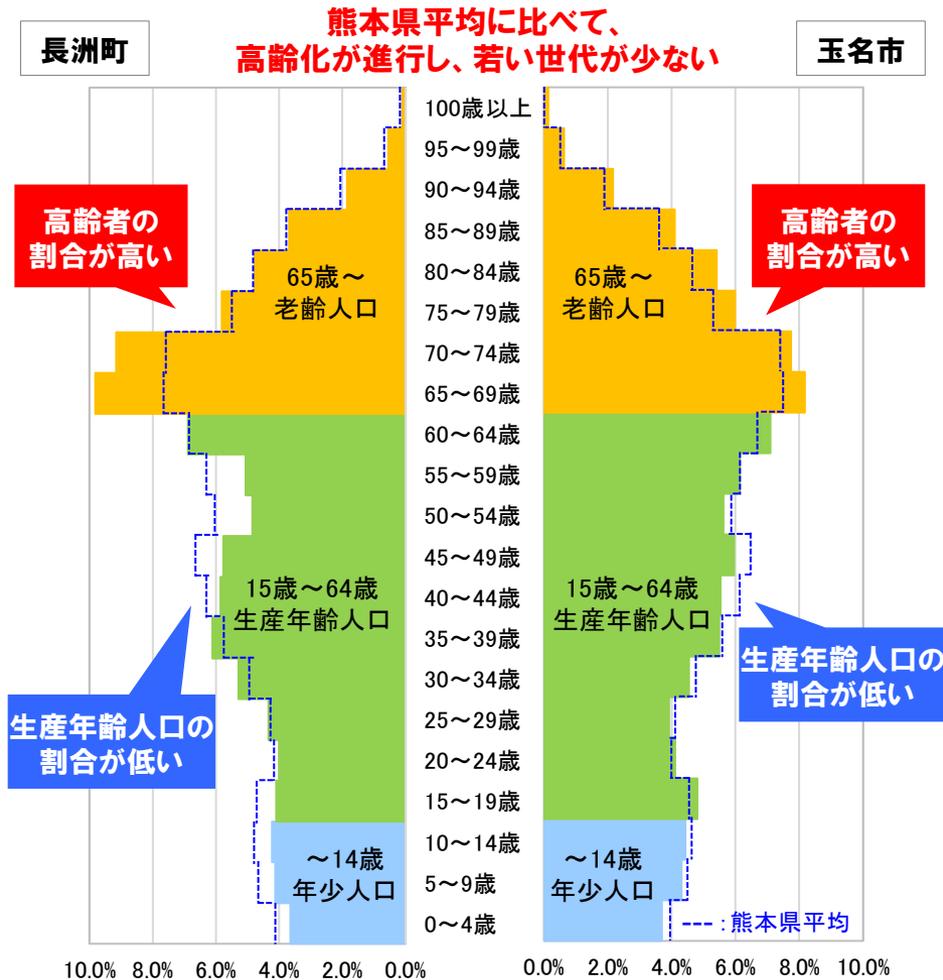
○県内平均と比較し、高齢者の割合が高く、生産年齢人口の割合が低い状況。



▲人口の推移 (H12~R2)



▲高齢化率と年齢別人口構成の推移 (H12~R2)



▲年齢別人口割合 (R2)

# 3-1. 地域の現状<地域のつながり>

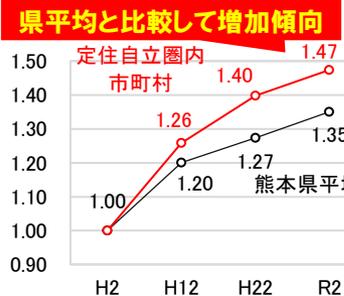
- 熊本県北西部では一体的な発展を図る「有明圏域定住自立圏」や「玉名圏域定住自立圏」を形成。
- 定住自立圏内の通勤通学における自動車利用は熊本県平均に比べて増加傾向。通勤通学時の移動手段の約7割が自動車利用。
- 有明海沿岸部の2つの定住自立圏内の市町村間の通勤者数は、福岡県や熊本県の総通勤者数の変化に比べて増加傾向にあり、特に、有明海沿岸部の地域間の繋がりが強い状況。



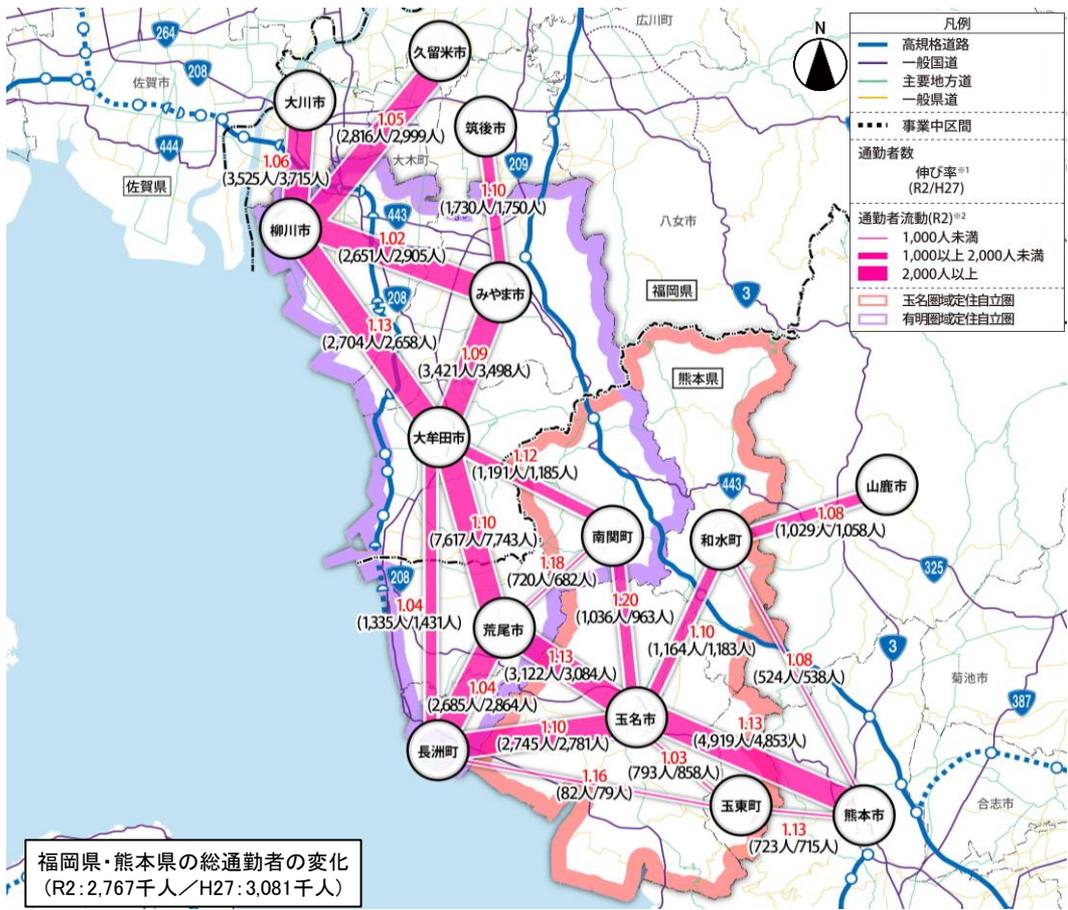
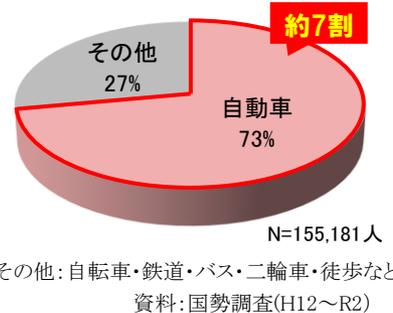
資料: 第2期玉名圏域定住自立圏共生ビジョン(R5.3改定)  
第3次有明圏域定住自立圏共生ビジョン(R3.3)

### ▲対象路線周辺の定住自立圏構想

### 【自動車利用割合の伸び率】



### 【利用交通手段割合(R2)】



※1: 各流動の伸び率については、福岡県・熊本県の総通勤者の変化を1.0に換算し算出  
※2: 定住自立圏内各市町村の令和2年における上位3位までの流動を表示

資料: 国勢調査(H27~R2)

### ▲有明圏域定住自立圏・玉名圏域定住自立圏内市町村における通勤通学時の利用手段

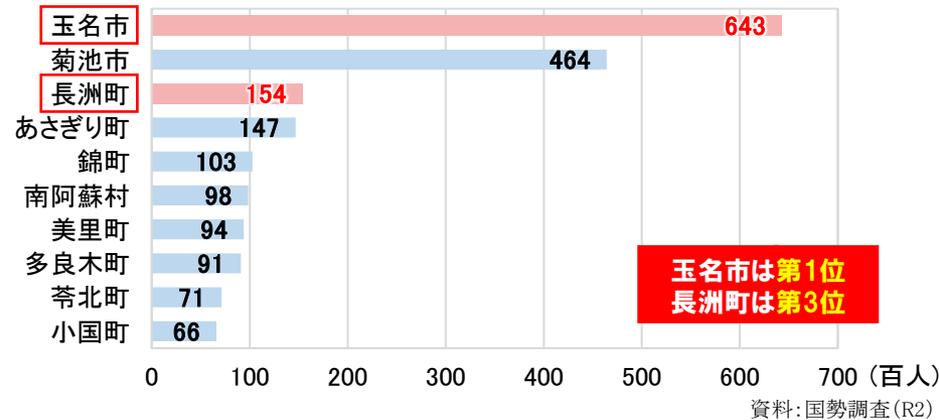
### ▲有明圏域定住自立圏・玉名圏域定住自立圏における通勤流動

# 3-1. 地域の現状<広域交通ネットワーク>

- 熊本県では九州中央自動車道や南九州西回り自動車道等の高規格道路の整備が進められているが、長洲町や玉名市は県内の高規格道路が通過していない市町村の中で人口が多い地域。
- 熊本中心部から長洲町や玉名市への連絡速度は、他の県内主要都市と比較して低い状況。

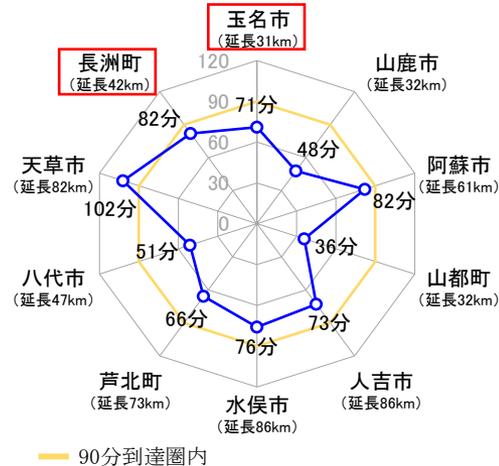


▲県内の高規格道路の整備状況と通過市町村

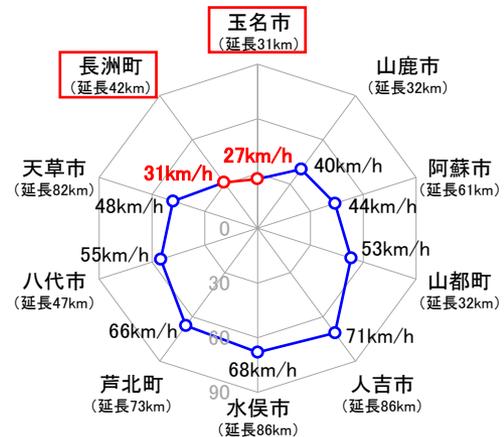


▲熊本県内における高規格道路が通過しない市町村の人口

【事業化路線整備後の所要時間】



【事業化路線整備後の連絡速度】



玉名市・長洲町のみ30km/h前後

※熊本県庁からの所要時間を算出

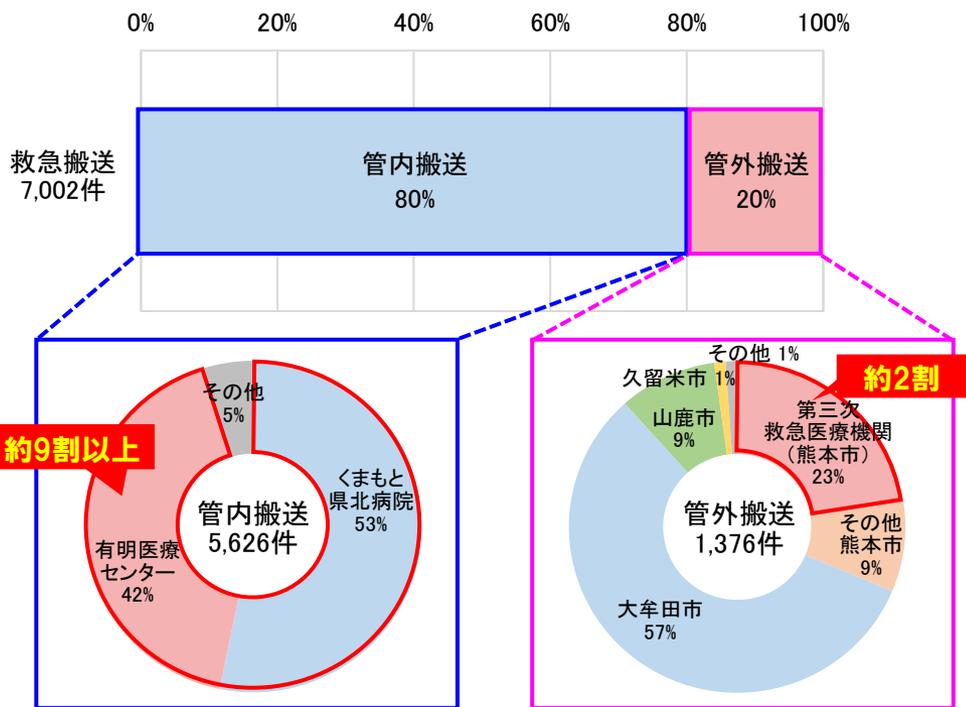
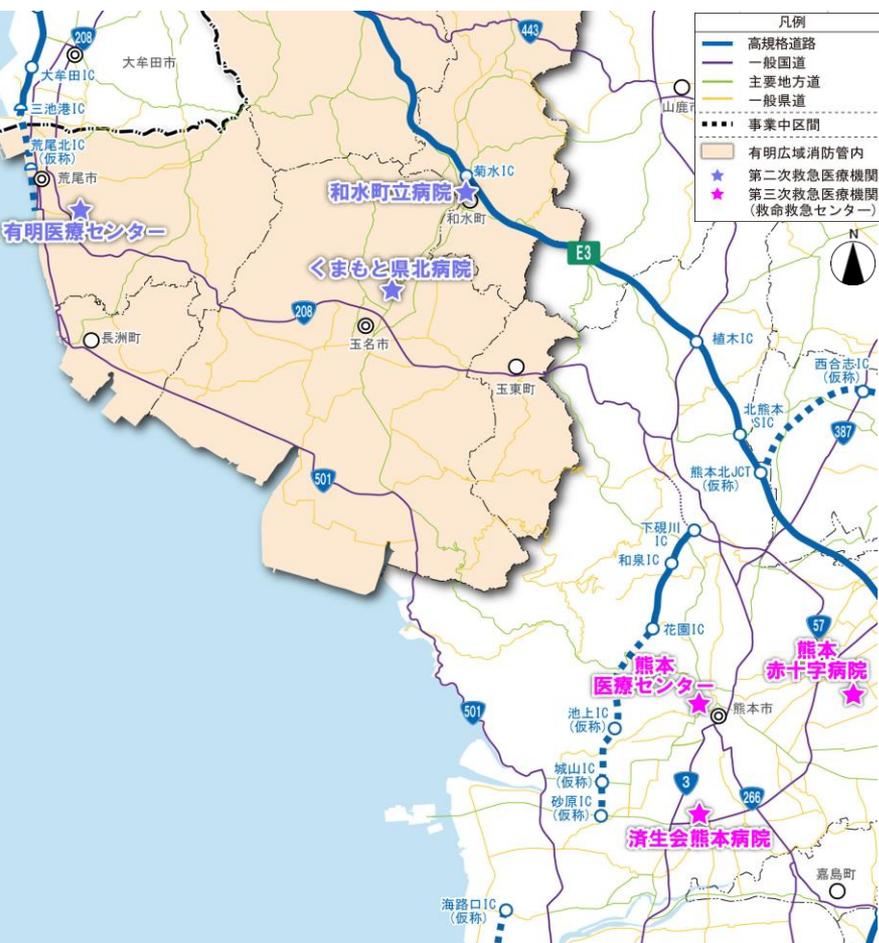
※未開通の事業中路線については設計速度で算出

資料: ETC2.0 (R4.10混雑時)

▲熊本県中心部から主要都市までのアクセス性

# 3-1. 地域の現状<救急医療>

- 長洲町や玉名市を管轄する有明広域行政事務組合消防本部における救急搬送は、管内搬送が約8割、管外搬送が約2割。
- 管内搬送は「有明医療センター」と「くまもと県北病院」が主であり、管外搬送の約2割は熊本市内の第三次救急医療機関となっており、管内・管外搬送ともに国道208号と国道501号を主に利用している状況。



※第三次救急医療機関は救命救急センターを集計 資料:有明広域事務組合消防本部提供(R4)

### ▲有明広域行政事務組合消防本部の救急搬送実績

**有明広域行政事務組合消防本部の声**

- 管内の救急搬送では、第二次救急医療機関である有明医療センターやくまもと県北病院が第一の選択肢であり、主に国道208号や国道501号を利用しています。
- 脳梗塞や多量出血などの重篤患者の場合は、管内の医療機関では対応困難であるため、管外の第三次救急医療機関への救急搬送を余儀なくされます。(R5.7ヒアリング調査)

※第三次救急医療機関は救命救急センターを表示 資料:有明広域事務組合消防本部提供(R4)

### ▲有明広域行政事務組合消防本部の管轄エリアと主な医療機関

# 3-1. 地域の現状<地域産業>

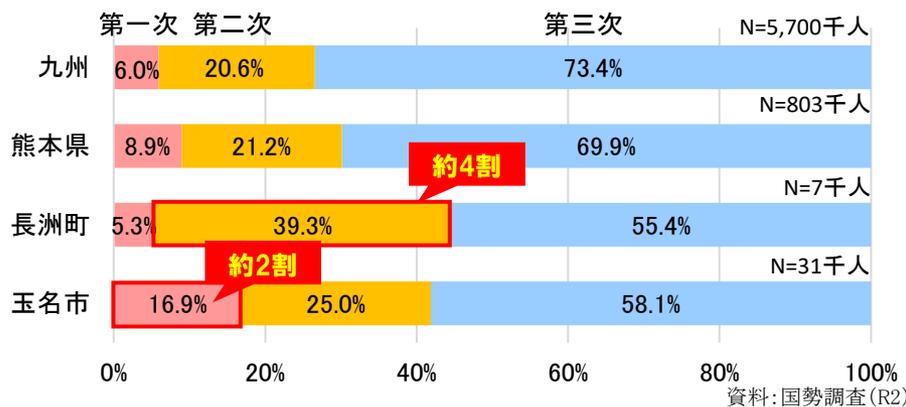
- 長洲町は工業地域、玉名市は農用地区域の土地利用割合が高く、長洲町は第二次産業の就業者割合が九州・県平均の約2倍、玉名市は第一次産業の就業者割合が九州・県平均の約2倍と高い状況。
- 長洲町は製造品出荷額が県内45市町村中の第8位であり、工業が盛んな地域。
- 玉名市は農業産出額が県内45市町村中の第4位であり、その中でも野菜・果実は約7割を占める主要産業。



※1 用途地域が指定されている県内市町村の平均を算出

※2 農用地区域: 農業振興地域の中において農業基盤の整備を進める区域であり、農業関係の公共投資が重点的に投入される区域 資料: 国土数値情報データ

▲長洲町・玉名市の土地利用



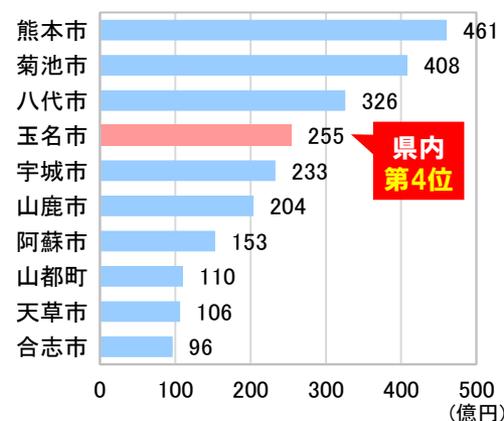
▲産業別就業者割合



資料: 経済センサス活動調査結果(R3)※

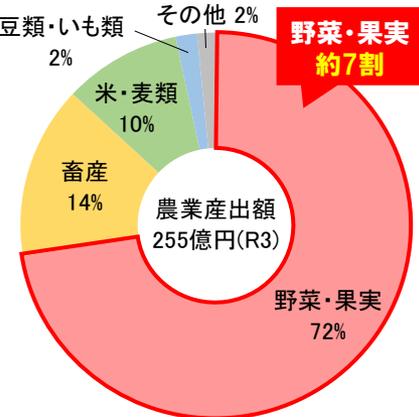
※製造品出荷額は公表前年(1月~12月)の実績

▲市町村別製造品出荷額(県内上位10位)



資料: 市町村別農業産出額(推計)(R3)

▲市町村別農業産出額(県内上位10位)

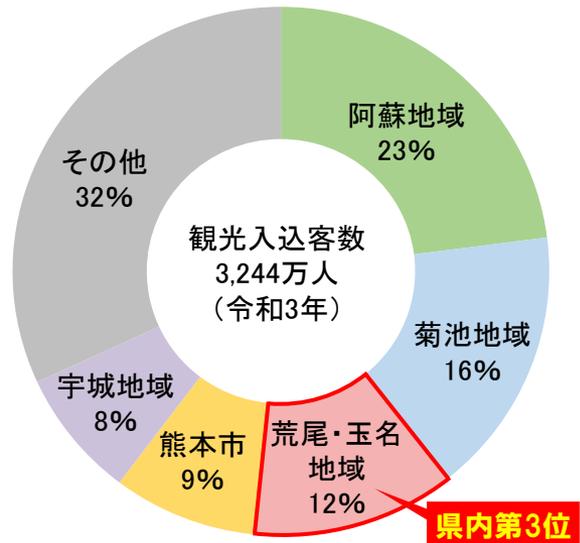


資料: 市町村別農業産出額(推計)(R3)

▲玉名市の農業産出額内訳

# 3-1. 地域の現状<観光>

- 有明海沿岸部には多くの観光施設が立地しており、なかでも沿線の荒尾・玉名地域は、世界文化遺産である万田坑をはじめとした観光施設が立地し、熊本県内第3位(約1割)の観光入込客数を誇るエリア。
- 有明海沿岸部では、各市町村の観光協会が連携し、更なる観光振興を目的とした「環有明海観光連合」が設立され、令和5年には南島原市や雲仙市、諫早市、長洲町が追加され、4県15市町に拡大。



資料:熊本県観光統計表(R3)  
▲熊本県内における地域別観光入込客数

### 五名市役所の声

- ・福岡都市圏からの観光客が主なターゲットですが、近年は有明海沿岸道路の整備が進んだ影響で、佐賀方面からの観光客が大きく増加しており、ターゲットとして追加しています。
- ・有明海沿岸地域の一体となった観光振興に取り組みたいという意向もあり、玉名市も環有明海観光連合に参加したいと考えております。(R5.7ヒアリング調査)



▲「環有明海観光連合」と主要な観光施設

# 3-1. 地域の現状<防災>

- 平成28年に発生した熊本地震の際には、九州縦貫自動車道で長時間の通行止めが発生。
- 国道3号のみならず、国道208号、国道501号への多くの迂回交通による大規模な交通混雑が発生し、物資輸送等を阻害。



※通行止め箇所は主要箇所の掲載(H28.4.17)

▲熊本地震による通行止め発生状況

## 1. 九州縦貫自動車道

- (地震時状況)
- ・地震により植木IC～八代ICが通行止め
  - ・通過車両が国道3号へ迂回
  - ・南関IC、菊水ICから国道208号、国道501号へ迂回誘導



## 3. 国道208号

- (地震時状況)
- ・国道3号の渋滞により国道208号へ流入
  - ・交通容量不足により渋滞
  - ・震災直後交通量が約8%増加



## 2. 国道3号

- (地震時状況)
- ・九州縦貫自動車道の通行止めにより国道3号へ流入
  - ・交通容量不足により渋滞
  - ・地震直後に10km/h以下の区間が多く発生



## 4. 国道501号

- (地震時状況)
- ・国道3号、208号の渋滞により国道501号へ流入
  - ・長洲～熊本西区役所までの所要時間55分⇒83分
  - 平均旅行速度 38.6km/h → 25.4km/h

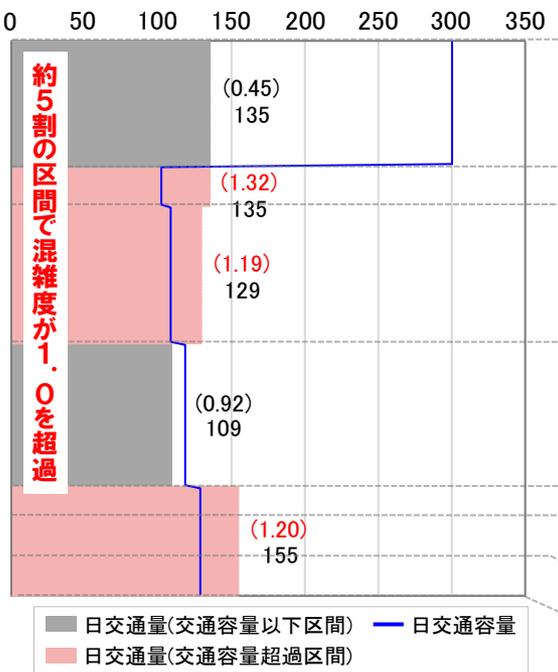


▲九州縦貫自動車道通行止め時の一般道の通行状況

# 3-2. 地域の現状と課題 <暮らし: 交通混雑>

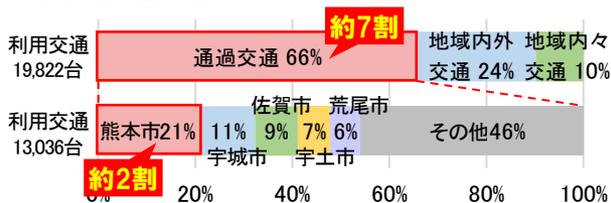
- 荒尾市・長洲町から玉名市・熊本市を結ぶ幹線道路は国道208号や国道501号のみであり、通過交通(長洲町や玉名市を発着しない交通)と地域内外交通・地域内々交通が混在。
- 約5割～8割の区間で容量超過が発生しており、主要渋滞箇所も位置するなど交通混雑が発生。

【交通状況】 ※( )内の数値は混雑度を示す (百台)



資料: 全国道路・街路交通情勢調査(R3)

【利用交通特性(A-A断面)】

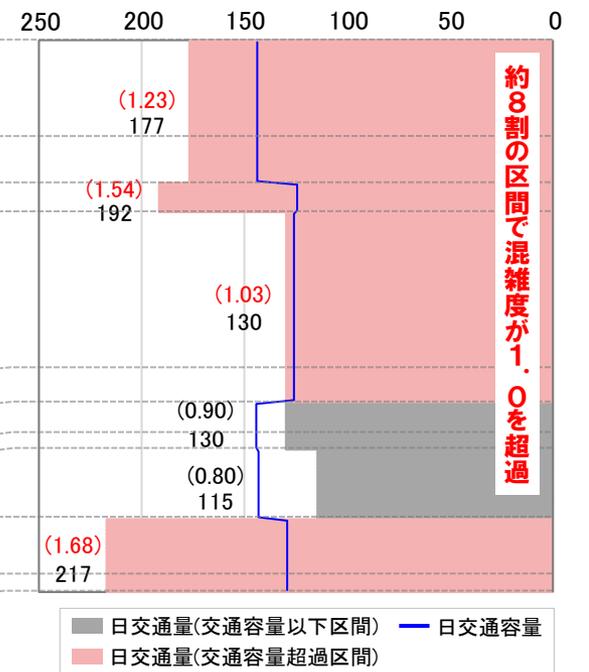


※地域内: 長洲町、玉名市 ※その他: 大牟田市、柳川市、鳥栖市等 ※往復の発着地を集計 資料: ETC2.0 (R4.10)

▲国道501号の交通状況

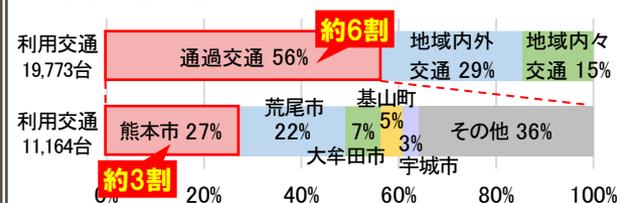


【交通状況】 ※( )内の数値は混雑度を示す (百台)



資料: 全国道路・街路交通情勢調査(R3)

【利用交通特性(B-B断面)】



※地域内: 長洲町、玉名市 ※その他: 佐賀市、菊陽町、合志市等 ※往復の発着地を集計 資料: ETC2.0 (R4.10)

▲国道208号の交通状況

## 玉名市役所の声

・国道208号では、地域の交通以外にも通過交通が多く、朝夕ピークを中心に交通混雑が発生しており、西照寺交差点や開田交差点等の交差点付近では渋滞が発生することもあります。(R5.7ヒアリング調査)

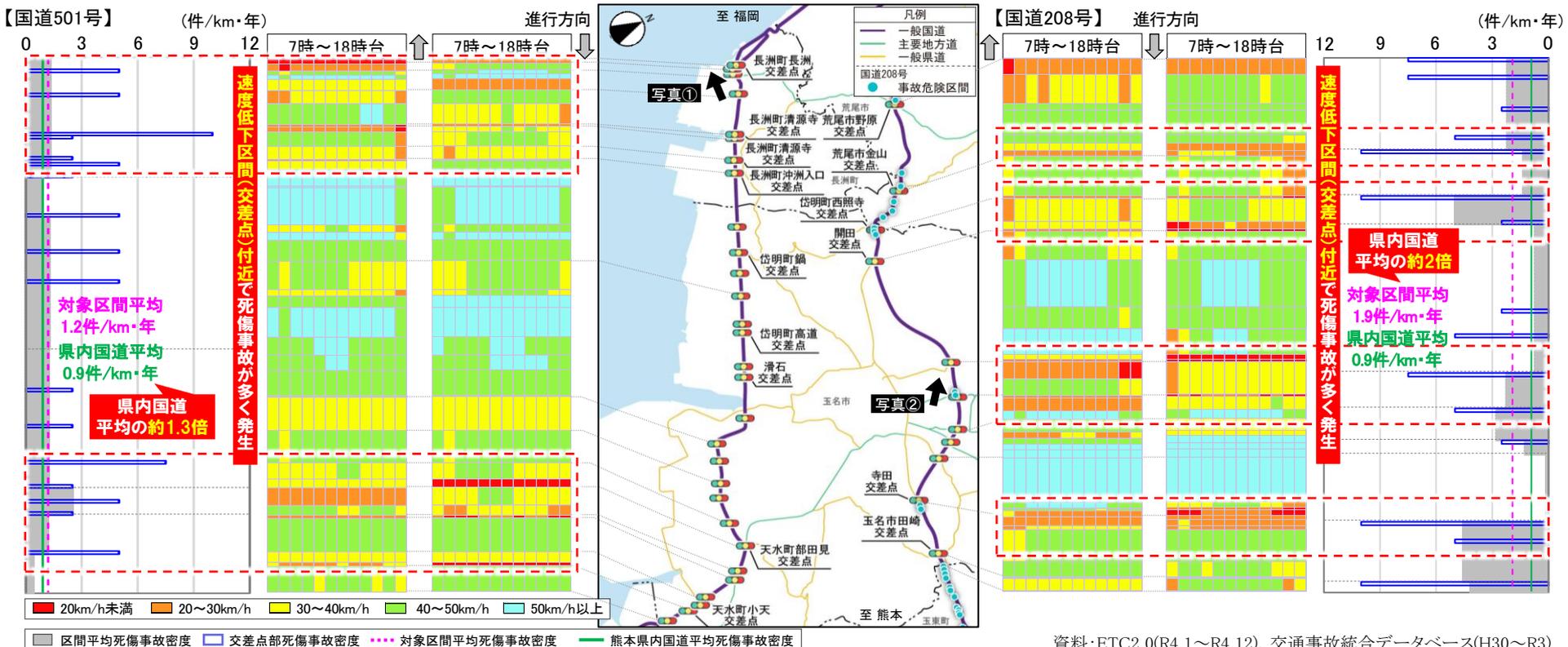
## 長洲町役場の声

・長洲町には工業団地が存在するため、国道501号は大型車が多く交通混雑の要因となっており、特に朝夕ピーク時を中心に交通混雑が発生しています。(R5.7ヒアリング調査)



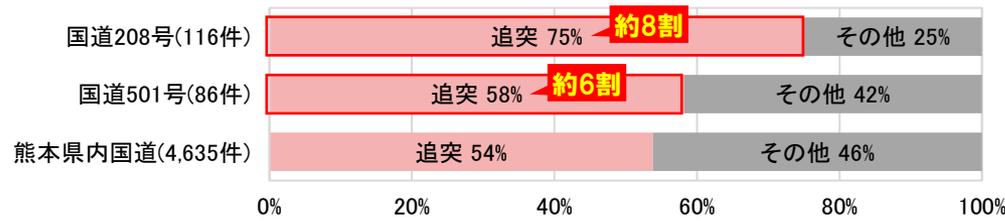
# 3-2. 地域の現状と課題 <暮らし: 死傷事故>

- 国道208号や国道501号は交差点前後を中心に20km/hを下回る速度低下が発生。
- 1kmあたりの死傷事故件数は県内国道平均の約1.3~2倍であり、特に速度低下区間で死傷事故が多く発生。
- 事故危険区間も点在し、交通混雑に起因する追突事故の割合も高く、走行性に加え、交通安全性も課題。



資料:ETC2.0(R4.1~R4.12)、交通事故統合データベース(H30~R3)

▲国道208号・国道501号の平均旅行速度・死傷事故発生状況



資料:交通事故統合データベース(H30~R3)

▲国道208号・国道501号の死傷事故類型



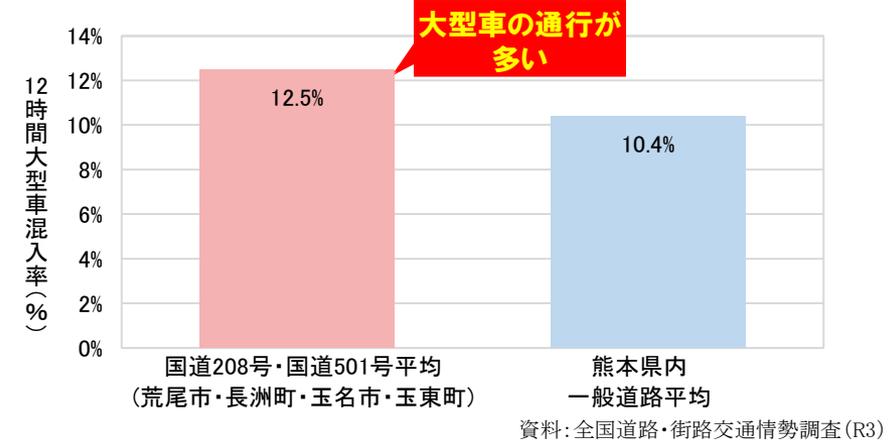
▲交通混雑状況

# 3-2. 地域の現状と課題 < 医療：救急搬送 >

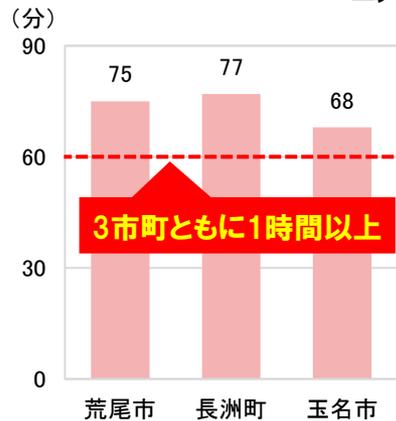
- 国道208号や国道501号は、交通混雑の発生や信号交差点が多数存在すること、大型車の混在等により、円滑な救急搬送を阻害しており、速達性や走行性の向上が課題。
- 脳梗塞や多量出血等の重篤患者の受け入れとなる熊本市内の第三次救急医療機関への搬送にあたっては、管内の現場から1時間以上を要しており、速達性の向上が課題。



※第三次救急医療機関は救命救急センターを表示 資料：全国道路・街路交通情勢調査(R3)  
 ▲主な救急搬送状況と国道208号・国道501号の交通状況

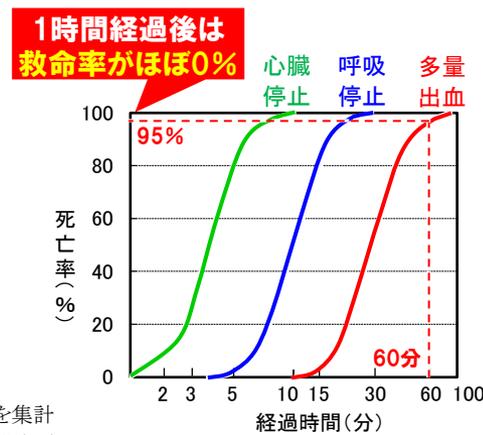


▲大型車混入率



※第三次救急医療機関は救命救急センターを集計 資料：有明広域事務組合消防本部提供(R4)

▲荒尾市、長洲町、玉名市から第三次救急医療機関(熊本市)への平均搬送時間



▲搬送時間と救命率の関係

**有明広域行政事務組合消防本部の声**

- ・国道208号や国道501号は時間帯によっては交通混雑が発生しており、大型車も多いことから、急停止や急発進、長時間搬送が患者への負担となっています。
- ・熊本市内の第三次救急医療機関への搬送においても、一般道路の利用に限られるため、長時間の搬送となってしまいます。(R5.7ヒアリング調査)

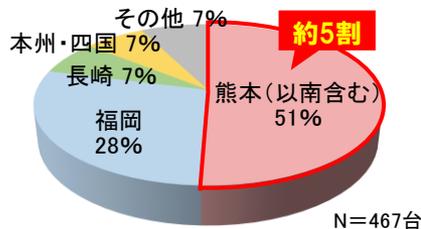
# 3-2. 地域の現状と課題 < 産業：物流活動 >

- 工業が盛んな長洲町における工業団地を利用する大型車は、熊本市方面が多いものの、アクセスルートが一般道路に限られていることもあり、速達性や定時性が低く、輸送における待機時間等が発生。
- 有明海沿岸地域から県内主要市場である「くまもと田崎市場」への輸送ルートである国道501号は、交通混雑により速達性が低く、農産物の鮮度低下等が発生。
- 更なる産業活性化に向け、熊本市方面の速達性の向上・定時性の確保が課題。



資料：造船関連企業・住宅設備関連企業提供

▲材料・製品の主な輸送方面



資料：造船関連企業提供 (R5.6.27~6.30調査結果)

▲長洲工業団地立地企業における入場車両(貨物車)の出發地内訳

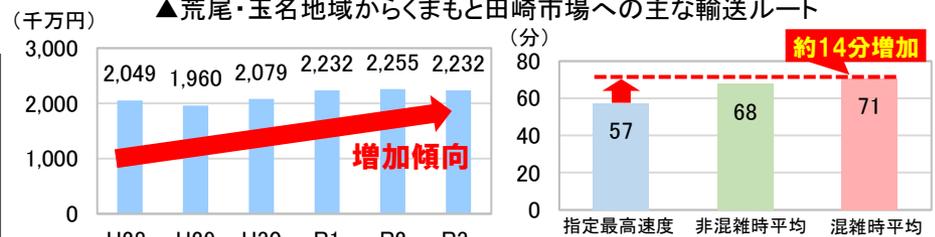
**長洲工業団地立地企業の声**

・有明海沿岸道路が整備され、長崎・佐賀方面からの輸送はスムーズになっていますが、熊本港や熊本市内の関連企業からの輸送は、一般道路に限られており、速達性や定時性が課題です。

(R5.7ヒアリング調査)

資料：くまもと田崎市場関連企業提供

▲荒尾・玉名地域からくまもと田崎市場への主な輸送ルート



※荒尾市・長洲町・玉名市・玉東町を集計

資料：市町村別農業産出額(推計)(H28~R3)

※非混雑時：9~16時、混雑時：7~8時、17時~18時

資料：ETC2.0 (R4.10)

▲有明海沿岸地域における農業産出額 (野菜・果実) ▲荒尾市~くまもと田崎市場の所要時間

# 3-2. 地域の現状と課題 < 産業：企業立地 >

- 世界最大手企業の製造工場の建設をはじめとした半導体関連企業の進出が盛んな菊池・大津地域への需要増加もあり、製造業が盛んな長洲町を含む有明海沿岸部(大牟田市、荒尾市)では、新工業団地造成や協定締結が進行。
- 有明海沿岸部から半導体関連企業集積地への輸送は一般道路に限られ、アクセス性が低いことから、今後の企業誘致を見据え、速達性や走行性の向上が課題。



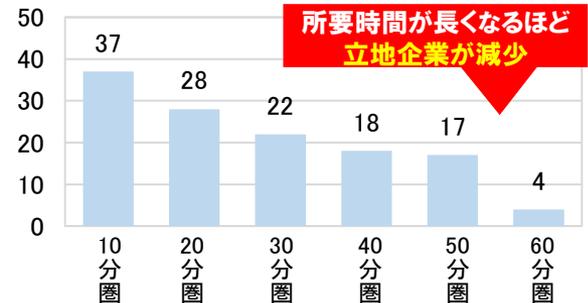
## 【世界最大手企業の進出による各種効果】

- (九州フィナンシャルグループによる試算)
- 工場稼働の2024年から2年間の経済波及効果を1兆8,000億円と試算
- 2022年から31年までの10年間の経済波及効果を4兆2,900億円と試算(約80社が熊本県内に拠点施設・工場増設等)



資料: 半導体・デジタル産業戦略(改定案)  
経済産業省商務情報政策局(R5.6)

## (企業数)



※半導体関連産業マップ\_熊本県(R4.11版)に掲載の熊本県内の企業を対象に集計  
資料: 全国道路・街路交通情勢調査(R3)

## ▲菊池・大津地域(セミコンテクノパーク)からの時間圏域と主な半導体関連企業の立地数

※1 菊池・大津地域: 合志市・菊陽町・菊池市・大津町 資料: 半導体関連産業マップ\_熊本県(R4.11版)、全国道路・街路交通情勢調査(R3)  
※2 製造品出荷額は公表前年(1月~12月)の実績 経済センサス活動調査結果(R3)※2

## ▲熊本県内の主な半導体関連企業と菊池・大津地域(セミコンテクノパーク)からの時間圏域

### 大牟田市役所の声

・新産業団地の可能性調査で臨海部が適地という結果となりましたが、立地業種としては九州の社会経済情勢等を踏まえ、金属製品や生産用機械器具、半導体関連産業の誘致を見込んでいます。(R5.9ヒアリング調査)

### 三池港の企業の声

・熊本県内の半導体企業進出の関係で、今後、有明海沿岸道路が延伸することになれば、半導体関連の物流量が増えると思います。(R5.8ヒアリング調査)

### 長洲町役場の声

・名石浜工業団地の残地への企業誘致を進めるとともに、将来的には新たな工業団地造成を計画しています。  
・半導体関連企業の集積が進む菊池・大津地域への需要増加が想定される中で、輸送効率化が図れば、企業誘致の促進も期待されます。(R5.7ヒアリング調査)

# 3-2. 地域の現状と課題 <観光：周遊観光>

- 有明海沿岸部の広域観光においては、熊本県側の有明海沿岸道路が未供用であることもあり、現状の環有明海観光連合への加盟は荒尾市・長洲町のみでの1市1町のみ。
- 沿線の地域内観光においては、来訪時の約9割は自家用車であるが、高速ネットワークが不足していることもあり、滞在時間が限定されている状況。
- 有明海沿岸部の広域観光、及び沿線の地域内観光の活性化に向け、観光施設間の周遊性を高める高速ネットワークの構築が課題。



都道府県	有明海沿岸道路の整備状況		加盟市町村
	供用中区間	事業中区間	
福岡県	28.3km (大川佐賀道路0.8km 大川バイパス10.0km 高田大和バイパス8.9km 大牟田高田道路8.6km)	1.0 km (三池港IC連絡路1.0km)	<b>4市</b> みやま市 柳川市 大川市 大牟田市
佐賀県	10.9 km (佐賀福富道路10.0km 大川佐賀道路0.9km)	11.4km (福富鹿島道路3.6km 佐賀福富道路0.5km 大川佐賀道路7.3km)	<b>4市1町</b> 佐賀市 小城市 鹿島市 嬉野市 太良町
熊本県	<b>0km</b>	3.9 km (荒尾道路2.2km 三池港IC連絡路1.7km)	<b>1市1町</b> 荒尾市 長洲町

**熊本県は未供用**

※R5.7時点

▲交通混雑状況

▲有明海沿岸道路の事業延長と「環有明海観光連合」の加盟市町村

**玉名市役所の声**

- 九州縦貫自動車道からのアクセスは、国道208号や国道501号となっていますが、両路線ともに交通混雑や大型車の混在が発生しており、観光施設での滞在時間が短くなるなど速達性・走行性の向上が課題です。
- 有明海沿岸地域にとって、速達性・走行性の高い高規格道路の整備には、周遊性の向上が期待でき、一体となった観光振興を大きく支援したいと思います。(R5.7ヒアリング調査)

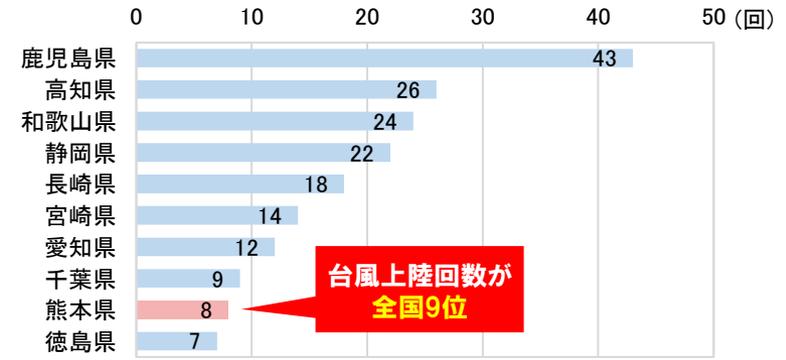
**長洲町役場の声**

- 荒尾・玉名地域における観光周遊ルートの作成や新たな観光施設の整備を進めており、有明海沿岸道路の整備による周遊性向上による観光入込客や消費額の増加に期待しています。(R5.7ヒアリング調査)

資料：荒尾・玉名地域観光マップ「あら、たまにはドライブで！」(R5)  
▲荒尾・玉名地域の主要な観光施設と高速ネットワーク

## 3-2. 地域の現状と課題 <防災：災害に強い道路ネットワーク>

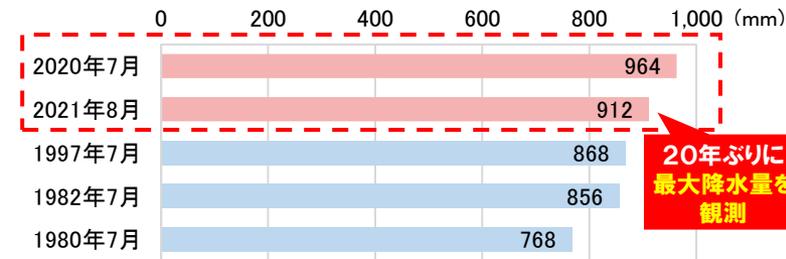
- 熊本県の台風上陸回数は全国でも上位であり、沿線地域では近年、観測史上最大の月降水量を記録。
- 沿線地域の高規格道路は九州縦貫自動車道のみであるが、豪雨等による通行止めが頻発。
- 国道208号、国道501号でも高潮浸水想定区域を通過しており、路面冠水や降雨等による通行止めも発生するなど、交通機能低下や物資輸送の阻害等が懸念され、災害に強い道路ネットワークの構築が課題。



※上陸：台風の本心が達した場合  
 ※1951年～2022年の集計

資料：気象庁HP (R5.6時点)

▲台風の上陸回数



※1976年1月～2023年5月の集計  
 ※岱明観測所(玉名市)

資料：気象庁HP (R5.6時点)

▲対象地域の月降水量(上位5位)

### 長洲町役場の声

- ・高潮と洪水のハザードマップでは長洲町のほぼ全域が危険区域に入っており、災害時にも機能する高規格道路が必要だと感じています。代替路となる高規格道路が確保できれば、住民の安心感が大きく向上すると思います。

(R5.7ヒアリング調査)



※高潮の主な発生原因：台風等の気圧低下による海面の吸い上げや強風による海水の吹き寄せ

資料：道路防災情報webマップ、熊本河川国道事務所(H16～R4)、NEXCO西日本(H25～R4)、熊本県HP (R3.11時点)

▲対象地域周辺の緊急輸送ネットワークと高潮浸水想定区域

## 4. 政策目標(案)の設定

# 4-1. 地域の将来像

○県および市の関連計画から、地域の将来像、道路整備に関する方針を整理。

## 地域の将来像

### 【暮らし】

- 新たな広域連携軸である有明海沿岸道路及び有明海沿岸連絡道路により佐賀・長崎県との圏域をこえた連携や熊本県内の交通ネットワーク強化が期待される。〈玉名市〉
- 広域幹線道路や地域間を結ぶ道路網の整備を図り、市民にとって安全で利便性の高い交通体系の実現に努める。〈玉名市〉
- 町内外の交流を促進し、町内交通の円滑化に向け、幹線道路・生活道路の整備を推進し、町民生活の利便性及び安全性の向上を図る。〈長洲町〉

### 【医療】

- 安心して暮らせるように、医療機関の機能分担と連携を図り、救急時にも対応できる地域医療体制を維持するとともに、個々の疾病に対する予防対策と、保健・医療の連携に努める。〈玉名市〉

### 【産業】

- 農業が本市の基幹産業であるため、この第1次産業を稼げる地域産業に成長させ、魅力ある雇用を創出し、地域の元気を創出する。〈玉名市〉
- 産業活動を支援するための物流拠点と港湾や空港、高速道路IC等の交通拠点間のアクセス機能の強化を図るための広域道路ネットワークとして有明海沿岸道路を位置付け(物流拠点⇄熊本港等)。〈熊本県〉

### 【観光】

- 早期整備が期待されている縦軸としての地域高規格道路有明海沿岸道路と、九州を横断する観光ルートの中継点にある長洲港周辺を交流拠点として位置付け、周辺道路網の充実を図り、効率的で機能的な交通結節点の形成を促進。〈長洲町〉
- 観光誘客や企業集積等による新たな人の流れを創出するため、中九州横断道路、有明海沿岸道路等の幹線道路ネットワークの整備を促進し、北部九州と阿蘇・大分地域を結ぶ結節点としての機能を強化する。〈熊本県〉

### 【防災】

- 大規模災害発生の場合でも、公共交通の機能が最大限維持できるよう、事業者との連携を強化し、災害に備えた交通ネットワークの向上を図る。〈玉名市〉
- 本町の縦軸・横軸の多重性確保のため、県及び関係市と連携し、幹線道路のネットワーク整備を進める。大規模災害時、道路の寸断や渋滞の発生により医療活動の支援が停滞するおそれがあるため、本県と九州各県を結ぶ幹線道路ネットワークの充実・強化、県内各地域を結ぶ道路網の確保が必要である。〈長洲町〉
- 九州圏内のリダンダンシー確保に向けて、規格の高い幹線道路である九州中央自動車道、中九州横断道路、熊本天草幹線道路、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路の整備を促進する。〈熊本県〉

# 4-2. 政策目標(案)の設定

## 地域の現状と課題

- 高齢化が進む玉名市や長洲町は、有明海沿岸部の地域間での繋がりが強い状況。
- 対象地域は、幹線道路の走行性が低く、熊本県の中でも中心部からのアクセス性が低い地域。
- 死傷事故件数は県内国道平均に比べて高く、交通混雑に起因すると想定される追突事故が多く発生。

- 玉名市・長洲町を含む有明広域消防管内の主要医療機関への管内搬送は、国道208号や国道501号を主に利用するが、速達性や走行性が低い。
- 重篤患者は熊本市の第三次救急医療機関への搬送を余儀なくされるが、管内からの平均搬送時間は60分以上であり、長時間の搬送による患者への影響が懸念。

- 製造業が盛んな長洲町では、企業が集積する長洲工業団地や名石浜工業団地から福岡・本州方面や熊本市方面との物流活動を実施。
- 玉名市等の有明海沿岸地域の野菜・果実の産出額は増加傾向にあり、くまもと田崎市場等の市場へ出荷活動を実施。
- 熊本市方面の物流活動において速達性や定時性の低下が発生。

- 地域一体となった観光振興を図る「環有明海観光連合」が発足しているものの、熊本県の市町村の加盟が少ない。
- 荒尾・玉名地域の観光入込客数は増加傾向にあるものの、地域内の周遊性が低い状況。

- 九州縦貫自動車道では豪雨等による通行止めが度々発生。
- 国道208号や国道501号は第一次緊急輸送道路に指定されているが、高潮浸水想定区域の分布等もあり通行止めが発生。
- 高規格道路は九州縦貫自動車道のシングルネットワークであり、熊本地震等の大規模災害で通行止めが発生した場合には、国道208号や国道501号等の一般道に迂回交通が集中し、大規模な交通混雑が発生する状況。

## 道路による要因

- 生活交通と通過交通の混在や交通容量超過による速度低下が発生しており、速達性や安全性が確保されていない。

- 国道208号や国道501号は、交通混雑の発生や信号交差点の点在、大型車の混在等により、速達性や走行性が確保されていない。
- 熊本市への救急搬送における主要ルートは一般道に限られており、速達性が確保されていない。

- 産業拠点から熊本市方面を連絡する速達性や定時性の高い道路ネットワークが不足している。

- 福岡県や佐賀県では有明海沿岸道路の整備が進んでいるものの、熊本県は未供用。
- 荒尾・玉名地域内はサービス速度が高い道路が未整備であり、観光周遊を促す道路ネットワークが確保されていない。

- 対象地域の道路網は災害時に通行止めになるなど災害に弱い。
- 高規格道路は九州縦貫自動車道のシングルネットワークとなっており、信頼性の高い道路ネットワークが不足。

## 政策目標

①速達性・安全性の確保による生活利便性の向上

②速達性・走行性の確保による救急医療活動の支援

③速達性・定時性の確保による産業活動の支援

④観光周遊ネットワークの確保による観光振興の支援

⑤災害に強い道路ネットワークの形成

【暮らし】

【医療】

【産業】

【観光】

【防災】

## 5. 意見聴取方法(案)

# 5-1. 第1回意見聴取(案)の概要

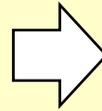
○意見聴取は、評価指標等を用いて地域がより重視する政策目標や配慮事項に関して意見を伺い、ルート帯や対応方針(案)の検討の参考とする。

○アンケート設問の設定(抜粋)

## <政策目標>

### 【暮らし】

①速達性・安全性の確保による生活利便性の向上



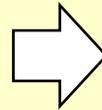
## <アンケートにおける質問事項>

問1-1:朝夕のピーク時等で移動に時間がかかると感じる

問1-2:交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故等の危険が多い区間だと感じる

### 【医療】

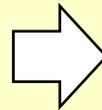
②速達性・走行性の確保による救急医療活動の支援



問2 : 地域内外の医療機関や熊本市の大規模な医療機関への円滑な移動・搬送に不安を感じる

### 【産業】

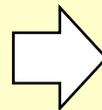
③速達性・定時性の確保による産業活動の支援



問3 : 地域の製造品や農産物の運搬を支える広域・高速ネットワークが不十分だと感じる

### 【観光】

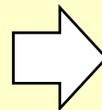
④観光周遊ネットワークの確保による観光振興の支援



問4 : 有明海沿岸地域の主要観光地間のアクセス性が低いと感じる

### 【防災】

⑤災害に強い道路ネットワークの形成



問5 : 災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる

# 5-2. 意見聴取の方法について

○意見聴取は、沿線自治体へのヒアリング、団体および企業、地域住民へのアンケートに加え、オープンハウス、留置きを実施予定。

## 意見聴取の対象

- ※1 ヒアリングは、沿線自治体および企業等へ対面方式等での意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、各自治体市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し、意見聴取。(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)
- ※4 郵送・WEBでのアンケート回答も可能とする。



▲地域住民意見聴取範囲

対象者		
ヒアリング ※1※4	【沿線自治体及び団体代表者】熊本県・荒尾市・玉名市・長洲町・玉東町団体への意見聴取	
	沿線自治体:熊本県、荒尾市、玉名市、長洲町、玉東町 各団体等:トラック協会、バス協会、消防本部、医療機関、農業協同組合、観光協会、商工会議所 等	5自治体 20団体程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【企業等】荒尾市・玉名市・長洲町・玉東町の関係企業への意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、建設業 等	主要100社程度
アンケート ※3※4	【地域住民】荒尾市・玉名市・長洲町・玉東町の市役所等にオープンハウスを設置し、アンケート票による意見聴取	
	荒尾市:荒尾市役所、ゆめタウンシティモール 長洲町:長洲町役場、長洲港フェリー乗り場(みなと憩い広場) 玉名市:玉名市役所、新玉名駅 玉東町:玉東町役場、玉東町ふれあいの丘交流センター 等	8箇所程度
	【地域住民】荒尾市・玉名市・長洲町・玉東町の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	荒尾市(20,783世帯、42,933人)	約3,000部(抽出)
	長洲町(6,434世帯、13,154人)	約1,000部(抽出)
玉名市(25,278世帯、54,414人)	約3,500部(抽出)	
玉東町(1,814世帯、4,196人)	約500部(抽出)	
留置き・HP等	【地域住民】荒尾市・玉名市・長洲町・玉東町の市役所等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取	
	・荒尾市役所、長洲町役場、玉名市役所、玉東町役場	
	【広域的な道路利用者】・高速道路SA(サービスエリア)等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取 ・国、県、市のホームページや高速道路のSA(サービスエリア)にWEBアンケートの案内を掲載し、意見聴取	
Webモニター アンケート	・広川SA、北熊本SA、道の駅「みやま」、道の駅「すいかの里植木」、道の駅「しろいし」、九州佐賀国際空港、三池港、熊本港、佐賀市役所、大牟田市役所 等 ・ホームページ掲載:国土交通省、熊本県、荒尾市、玉名市、長洲町、玉東町 等	
	【広域的な道路利用者】Webモニター調査により意見聴取	
1年以内に1回以上、長洲町(荒尾市)～玉名市間を通ったことのある、又は将来通りたいと考えている周辺地域(佐賀市、大川市、柳川市、みやま市、大牟田市、熊本市)の方	400票程度	
1年以内に1回以上、長洲町(荒尾市)～玉名市間を通ったことのある、又は将来通りたいと考えている沿線地域(荒尾市、長洲町、玉名市、玉東町)・周辺地域(佐賀市、大川市、柳川市、みやま市、大牟田市、熊本市)を除く九州地方在住の方	400票程度	

# 5-3. 意見聴取資料(案)

## ◆アンケート調査の調査概要説明資料(案)のイメージ

### ■調査の主旨、調査対象箇所、計画段階評価の流れについて説明

有明海沿岸道路(長洲町～玉名市)における道路計画に関する第1回アンケートにご協力をお願いいたします。

有明海沿岸道路(長洲町～玉名市)は有明海沿岸部の主要都市を連絡し、九州佐賀国際空港や三池港、長洲港、熊本港の物流・交通拠点をつなぐ高規格道路です。

本調査は、有明海沿岸道路(長洲町～玉名市)間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見を頂くことを目的としています。

皆様のご協力をお願いいたします。

#### ■アンケート対象者

本アンケートは、荒尾市、長洲町、玉名市、玉東町にお住まいの方に配布しています。

○本アンケートは、配布させていただきます世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。お手数ですがアンケートの主旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。

○ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「**アンケート回答用 返信はがき**」を4枚同封させていただきます。

(対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。)

○なお、返信ハガキが不足する場合は以下の問合せ先にご連絡ください。

#### ■回答の提出方法及び締切

○回答は、次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入いただき、**令和○年○月○日(○)まで**に、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記のA、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、**令和○年○月○日(○)まで**に、回答してください。

A 右記URLをアドレスバーに入力

[qsr.mlit.go.jp/kumamoto/●/](http://qsr.mlit.go.jp/kumamoto/●/)

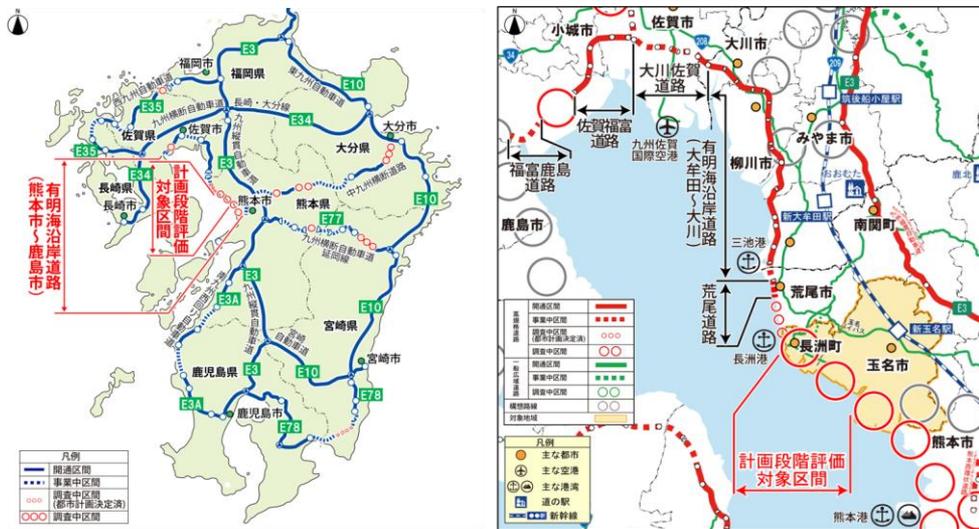
B QRコードからアクセス QRコードはこちら



国土交通省 九州地方整備局

問い合わせ先 熊本河川国道事務所 計画課 TEL:096-382-1242(直通)

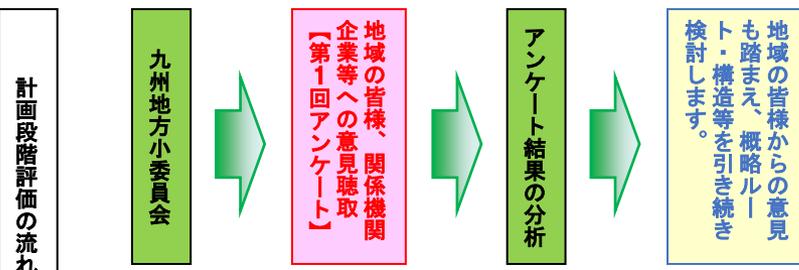
### 有明海沿岸道路(長洲町～玉名市)対象区間位置図



#### ■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



現在はこの段階です

#### ■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

### 地域・道路交通の状況と課題

#### 【①暮らし】

##### 朝夕を中心に交通混雑が発生

- ◆国道208号や国道501号は、大型車等の通過交通と生活交通が混在している状況です。
- ◆交通容量が超過している区間も多く、熊本中心部からのアクセス性も低いため、速達性の向上が課題です。



▲国道208号の交通混雑状況(平日7時台)

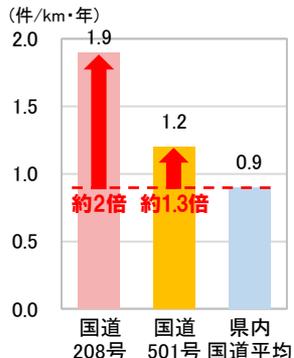


▲国道501号の交通混雑状況(平日17時台)

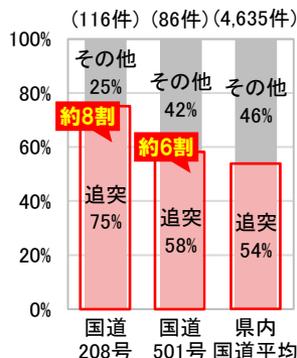
##### 死傷事故の発生頻度が高い

- ◆国道208号や国道501号では、1kmあたりの死傷事故件数が県内国道平均を上回る状況です。
- ◆速度低下に起因する追突事故の割合が高く、交通安全性の向上が課題です。

#### 【1kmあたりの死傷事故件数】



#### 【死傷事故類型】



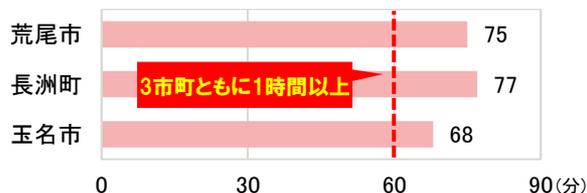
資料: 交通事故総合データベース(H30~R3)

▲死傷事故の発生状況

#### 【②医療】

##### 地域内外の医療機関への搬送に時間がかかる

- ◆国道208号や国道501号は、交通混雑の発生や大型車の混在が影響し、地域内の円滑な救急搬送を阻害している状況です。
- ◆重篤患者は熊本市内の第三次救急医療機関へ搬送されますが、1時間以上の長時間搬送となっており、速達性・走行性の向上が課題です。



※第三次救急医療機関は救命救急センターを集計

資料: 有明広域事務組合消防本部提供(R4)

▲荒尾市、長洲町、玉名市から第三次救急医療機関(熊本市)への平均搬送時間

#### 【③産業】

##### 円滑な物流活動を阻害している

- ◆国道208号や国道501号は、製造業や農業の物流を担う主要路線です。
- ◆産業拠点や物流拠点からの高速道路ネットワークがないため、物流活動における速達性・定時性の確保が課題です。

輸送時間が読めないこともあり  
事前に待機する大型車  
(早期8時台)



資料: 造船関連企業提供(R5.11.15)

▲長洲工業団地における大型車の輸送状況

#### 【④観光】

##### 観光周遊ネットワークが不足している

- ◆「環有明海観光連合」が発足しているものの、熊本県の市町村の加盟は少ない状況です。
- ◆地域内に高速道路がないため、周辺地域からのアクセス性や地域内の観光地間のアクセス性が低く、観光周遊ネットワークの確保が課題です。



有明海沿岸道路が未供用であり  
熊本県は荒尾市・長洲町のみ加盟

▲「環有明海観光連合」と有明海沿岸連絡の整備状況

#### 【⑤防災】

##### 災害時の通行止めや交通混雑が懸念

- ◆国道208号や国道501号、九州縦貫自動車道は第一次緊急輸送道路に指定されているものの、高潮浸水想定区域等が分布していることもあり、災害による通行止めが発生しています。
- ◆熊本地震時には、九州縦貫自動車道が通行止めになり、一般道で大規模な交通混雑が発生するなど災害に強い道路ネットワークの形成が課題です。



九州縦貫自動車道(植木IC~八代IC)の通行止めにより大規模な交通混雑が発生

▲熊本地震時の国道208号の交通混雑状況

### アンケートにお答えください 回答は、返信用はがきにご記入ください

下記を参考に、同封の返信用はがきへ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いいたします。

- ・ **あなたご自身の事**に関する設問は、記入または該当する番号に○をつけてください。
- ・ **単一回答**の設問は、あてはまる番号を **1つだけ**○で囲んでください。
- ・ **5段階評価**の設問は、各課題の該当する箇所 **1つだけ**○をつけてください。
- ・ **自由回答**の設問は、具体的な内容を回答してください。

国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の現状について、地域にお住まいの皆様のご意見を広く伺うことを目的としています。  
そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。  
**回答いただいた個人情報に関する情報は、本人の同意なく第三者の開示・提供することはありません。**  
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

**あなたご自身の事について教えてください**

住所 ①荒尾市 ②長洲町 ③玉名市 ④玉東町  
⑤その他

性別 ①男性 ②女性

年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代  
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

**問1 国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の利用頻度について**

国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)をどの程度利用していますか？(単一回答)

①	ほぼ毎日(週4～7回)
2	週に数回程度(週2～3回)
3	月に数回程度(週1回未満)
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない

**問2 国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の移動手段について**

国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)を通行する際の主な移動手段は何ですか？(単一回答)

①	自動車
2	公共交通(バス、タクシー)
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

**問3 国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の利用目的について**

国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？(単一回答)

①	通勤・通学
2	仕事(営業・商談・運送など)
3	私用(買物・食事・通院など)
4	その他[具体的な内容を記入してください]

**問4-1 国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の課題について**

国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)に関する5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)で評価してください。(5段階評価)  
【①～⑤の課題それぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

分類	番号	課題 (地域や道路交通の課題)	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
暮ら	①-1	朝夕のピーク時等で移動に時間がかかると感じる				○	
	①-2	交通混雑や大型車の混在等が影響し、交通事故等の危険が多い区間だと感じる	○				
医療	②	地域内外の医療機関や熊本市の大規模な医療機関への円滑な移動・搬送に不安を感じる				○	
産業	③	地域の製造品や農産物の運搬を支える広域・高速ネットワークが不十分だと感じる	○				
観光	④	有明海沿岸地域の主要観光地間のアクセス性が低いと感じる				○	
防災	⑤	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めによる不安を感じる				○	

**問4-2 国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の課題について(理由)**

「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理由
(記入例)	●●時に利用したが、県道●●号線に迂回した。
①-1	
①-2	
②	
③	
④	
⑤	

**問4-3 国道208号(荒尾～玉名間)・国道501号(長洲～玉名間)の課題について(その他の課題)**

「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的に記入してください。(自由回答)

(記入例)  
日常的に●●で困ることがあるので、●●することが必要ではないかと思う。

**問5 その他について**

その他ご意見がございましたらお聞かせください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。



END